

# 令和2年度 第1回恵那市スポーツ推進審議会会議録

日時：令和2年9月25日（金）  
午後3時30分～午後5時23分  
場所：恵那文化センター 集会室

- 1 委嘱書の交付
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会長、副会長の選任
- 5 会長、副会長あいさつ
- 6 会議の公開、公表について
- 7 報告
  - 報告1 まきがね公園、笠置峡ボート・カヌー場施設整備について
  - 報告2 （公財）恵那市体育連盟の取り組みについて
- 8 議題
  - 議題1 スポーツ推進計画・行動計画の進捗状況について
  - 議題2 スポーツ推進計画及び行動計画の中間見直しについて
- 9 その他
  - ・第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会の開催について
  - ・「子どもの体力・スポーツ格差に関する基礎的検証研究」調査報告書概要
- 10 閉会のあいさつ
- 11 会議の公開・非公開・・・公開
- 12 出席者の数・・・11人中10人（以下のとおり）

No.	所 属	氏 名	備 考	出 欠
1	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	三 宅 祥 市	会長	出席
2	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	酒 井 俊 郎	教授	出席
3	中京学院大学経営学部	横 谷 淳	専任講師	出席
4	岐阜県身体障害者福祉協会恵那市支部	鷺 見 辰 星	支部長	出席
5	恵那市地域自治区会長会議	額 額 佳 恭	飯地地域自治区会長	出席
6	(株) アクトス	磯 村 信 雄	健康事業推進部長	出席
7	(公財) 恵那市体育連盟	山 本 好 作	会長	出席
8	恵那市教育委員会	安 藤 一 博	副教育長	出席
9	恵那市小中学校校長会	丸 山 成 之	岩邑中学校校長	欠席
10	恵那市こども園長会	永 治 寿 美	みさとこども園長	出席
11	恵那市役所医療福祉部	加 藤 真 治	部長	出席

- 13 傍聴者の数・・・0人

## 開 会

■事務局（進行） 本日進行を務めるスポーツ課長の服藤です。よろしくお願いいたします。

だいまより開会する。本日の審議会は公開とする。本日は11名の委員の中で9番の丸山委員が欠席であり、本審議会は成立した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時間短縮を図る。午後5時前後を終了予定時刻とする。御協力をお願いしたい。

### 1 委嘱書の交付

■事務局（進行） 席に委嘱書を置いているので確認してほしい。

### 2 教育長あいさつ

■事務局（進行） 教育長よりあいさつ申し上げる。

■教育長 お忙しい中、また雨の中ありがとうございます。中部大学の酒井先生には遠いところからありがとうございます。この後もずっと御専門の立場から御指導いただきたいと思っている。

本年度はもう半年経っている。第1回の今日の目的は、5年前に作成した恵那市スポーツ推進計画の10計画が半分過ぎ、5年を振り返ると概ね計画どおり順調に進んできたと思う。計画を作った直後には、当市が健幸都市宣言をして、冊子も作っている。本日は、本来なら、残りの5間を見通して、この5間の成果と課題を明らかにし、いくらか軌道修正、微調整をするのが目的だが、今年のこの半年は私たちの経験のない状況になっている。新型コロナである。振り返ると、子どもも大人も、計画していたことが中止になり、代替の方法もなかなか見つからない。子どもたちは3カ月間家にいて、保護者からは体力低下を心配する声もあった。中学3年生は、楽しみにしていた中体連の大会も開かれず、悔しい思いをしている。今小康状態の中で、やれる範囲で練習している。この先5年間、特効薬ができて今までどおりに戻ればいいが、しばらくはいろいろな制限の中で工夫しながらやっていかないと推測される。これらを念頭に置きながら、変えるところは大きく変え、配慮すべきところはしっかり言及しておく計画を作りたいと思っている。委員には忌憚のない御意見を言っただき、後期計画が実効性のあるものにあることを願っている。お力添えいただきたい。

### 3 自己紹介

- 事務局（進行） 名簿の順で自己紹介をお願いします。
- 三宅委員 恵那市スポーツ推進委員会会長の岩村町出身の三宅です。よろしくをお願いします。
- 酒井委員 中部大学生命健康科学部の酒井です。子どもたちの親子運動遊び交流会を昨日もやっていたが、非常に元気で、また私も頑張らなければいけないと思っている。よろしくをお願いします。
- 横谷委員 中京学院大学の横谷です。私も3期目になる。昨年度は講義の関係で参加しなかった。今年は極力参加し地域貢献していきたい。よろしくをお願いします。
- 鷺見委員 恵那市の障害者福祉協会の支部長の鷺見です。中野方の者です。恵那市の方々、スポーツ関係の方々には本当にお世話になっている。身体障害者の上にもいろいろとアドバイスしてもらったり協力してもらったりしている。今後ともよろしくをお願いします。
- 瀬戸委員 恵那市の地域自治区協議会の代表として来ている。よろしくをお願いします。
- 磯村委員 株式会社アクトスの磯村です。よろしくをお願いします。委員の中では唯一民間企業、商業ベースで健康づくり、スポーツ振興に貢献できている。スポーツクラブの業界もコロナの影響を受けている。緊急事態宣言解除以降、業界でも感染防止対策のガイドラインを立ち上げ、それ以来、スポーツクラブではクラスター等の発生が確認できない状況まで頑張ってきた。それらも含め、これからコロナとの共存の中でどのようにスポーツ振興、健康づくりを推進していくか、力になりたい。
- 山本委員 恵那市体育連盟の山本です。よろしくをお願いします。
- 安藤委員 教育委員会副教育長の安藤です。よろしくをお願いします。
- 永治委員 恵那市こども園の園長会から来た、みさとこども園の永治です。よろしくをお願いします。
- 加藤委員 医療福祉部長の加藤です。よろしくをお願いします。医療福祉部では健幸まちづくり基本計画の中で、つくる健康と守る健康というのがあり、つくる健康というのは、運動・スポーツと食で生活習慣病の予防に努めるというもので、運動・スポーツのところがスポーツ課の基本計画と共通しており、健幸まちづくりの中でも健康づくりのところを担っていただいているので、そういう立場から参加している。よろしくをお願いします。
- 事務局（進行） 事務局を紹介する。
- 事務局 教育委員会事務局長の長谷川です。4月から教育委員会に来た。よ

ろしく申し上げます。

■事務局 健幸推進課長に所用が入ったので代理出席の原です。

■事務局 スポーツ課長の服藤です。8月から拝命している。よろしく申し上げます。

■事務局 スポーツ課の加藤です。よろしく申し上げます。

■事務局 スポーツ課のです。よろしく申し上げます。

■事務局 スポーツ課の堀です。スポーツ審議会の担当をしている。よろしく申し上げます。

■体育連盟専務理事 三浦です。よろしく申し上げます。

■体育連盟事務局長 事務局長の大嶋です。よろしく申し上げます。

#### 4 会長、副会長の選任

■事務局（進行） 条例5条に基づく選任について意見はあるか。

■顧問委員 前回三宅会長、酒井先生が副会長でお世話になっている。今回も引き続きやっていただきたい。

■事務局（進行） 異議はあるか。

〔 「異議なし」の声あり 〕

■事務局（進行） 会長は三宅委員、副会長は酒井委員で審議を進めたい。三宅委員、酒井委員は会長席、副会長席に移動してください。

#### 5 会長、副会長あいさつ

■事務局（進行） 会長、副会長からあいさつをいただく。

■会長 引き続きやれと言われ恐縮している。この審議会は、前々回の途中から会長をさせていただいている。指名なので、皆さんのお力添えの下、有意義な審議会にしていきたい。協力をお願いしたい。よろしく申し上げます。

■副会長 私も会長と一緒に副会長を拝命している。スポーツは安心・安全じゃないとできないという原理原則がある。緊急事態があると即座にスポーツする環境ではなくなる。危機に対応するためにも組織づくり、仕組みづくりは大切だと思うので、協力したい。今後もよろしく申し上げます。

#### 6 会議の公開、公表について

■事務局（進行） ここからの進行は三宅会長にお願いする。

- 会長 会議の公開、公表について、事務局から。
- 事務局 会議の公開については、市の要綱にある。会議の公開、もしくは非公開の決定は、附属機関の長、審議会長が会議に諮って行うものとしている。今後、第2回目以降の会議について、審議会長が委員に諮って判断したい。
- 会長 本審議会及び以降の審議会は公開、議事録もウェブサイト等で公開してもよいか。異議がなければ挙手してほしい。  
〔 挙手する者あり 〕
- 会長 全員一致なので、承認いただけた。次回からの会議は公開し、議事録等はウェブサイトで公表していく。

## 7. 報告

### 報告1 まきがね公園、笠置峡ボート・カヌー場施設整備について

- 会長 事務局から説明いただく。  
〔 事務局から資料に基づき説明 〕
- 会長 質問等あれば挙手してほしい。  
〔 挙手及び発言する者なし 〕

### 報告2 (公財) 恵那市体育連盟の取り組みについて

- 会長 報告2に移る。  
〔 事務局から資料に基づき説明 〕
- 会長 纈纈委員。
- 纈纈委員 まきがね公園に来館者が増えてすごいと思っているが、どのような人が集まったか、地区別に出るか。分かれば協議会で協議できる。また、拠点を中心部にあるので、周辺部からは通ってきているのかが知りたい。中心部だけの施設になっているのか。周辺部からの利便性を考えていった方がいいのか。教えていただけるかどうか。
- 会長 事務局。
- 事務局 利用者の地域別割合については、利用者の多くが団体利用なので代表者の住所しかつかめていない。ただ、コロナの関係で利用者名簿を出していただいているので、それを見ればつかめる。が、今のところ把握する作業をしていない。周辺部の人の利用は、見ていると全体的には近いところからの人が多いと思う。ただ、市民体育大会では各町に声をかけて選手を集めているし、スポーツ少年団の事業でもなるべく周辺部にも声をかけてリハに使っていただくことは考えている。山岡なら山岡にB&Gがあるし、明智も同様なので、地元の人

元の施設を使う傾向が強いという感触だ。

まきがね公園にはバス停がない。一番近いのが榎ヶ根というバス停で、19号沿いにあり、公園の体育館まで1kmぐらいあるし、1日1往復しかバスがない。利用の用をなさない。そのバスが1日2本でも公園の中まで入ってくれば利用できると思うが。それにとどまらずもっと公共の交通の運行は私どもも要望していきたい。高校生ぐらいだと仲間内で誘いあってタクシーで来る例も見かける。恵那高は部活ではここから走ってウォームアップを兼ねている。

■**顧問委員** 地域でそれぞれがまちづくりの一環として住民がスポーツをやる場所まで、例えば笠岡では地域バスがあるので申し込んでもらえば来ることができる。ただ、有償交通運送会議等で認めてもらわないとそこまで来ることができない。そういう課題を地域で一緒に相談していただけるとありがたい。

■**会長** 事務局。

■**事務局** まきがね公園の地区別利用者数について質問があった。私どもでもアンケートで、資料1、「運動やスポーツに関するアンケート 一般市民用」の中の2ページで、問3、どこの地区に住んでいますか 13ページ問4、あなたは普段まきがね公園を利用していますかというのがある。せん散布を採って分析と結果をまたお渡ししたい。

■**会長** 私から聞く。今年市民大会が無くなった。代替大会の日程が組まれていると思うが、どのような状況か教えてほしい。

■**事務局** 市民体育大会は6月から毎年始まっている。今年はこの状況なので正式市民大会は中止している。大会に参加したいという希望もあるので、なんとか、できる種目はやっていきたいということで種目団体をお願いしている。実際にやる準備をしているのは、アーチェリー、クレ射撃、弓道、バスケットボール。クレ射撃は選手の募集にかかっている。ゲートボールもやる準備をしている。日にちは資料を今持っていないので答えられないが、今後も種目団体の状況によってできるものはやっていきたい。

■**会長** ほかに質問はあるか。

[ 挙手及び発言する者なし ]

■**会長** ないようなので次に移る。

## 8. 議題

### 議題1 スポーツ推進計画・行動計画の進捗状況について

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■**会長** 酒井先生、こども園の恵那市の状況を説明していただければありがたい。

■**副会長** 平成28年度から始まり、初年度から25m走、立ち幅跳び、ボール投

げ（テニスボールによる）、握力、体支持持続時間という自分の体を支えて持ち上げるものを計っている。握力の数値は全国的に見ても高い数字を維持している。走、跳、投、25m走は改善が見られる。5項目を、標準を3点、それより良いと4点と、標準偏差というのを使って全国の数値との比較で見る。低いものを2点、1点とする。全国標準だと3になるが、女子は3歳、4歳は全国標準より高い。しかし、就学前の5歳児ではなぜか3前後になる。男子は全国標準あたりを推移している。あと、特徴としては、肥満児がほとんどいない。今年のデータはまだ見てないが、今年ひょっとしたらコロナ禍で変わってくる可能性がある。福島でも避難地区の子どもたちのBMI（体格指数）が上がって肥満傾向が出てきて運動能力が下がったという報告がある。今年度はその辺の差も検討していきたい。3歳、4歳が高くてその後標準ぐらいくるというのは、一つの考え方として、例えば走るということでは、スピードが上がるには脚を速く動かす、いわゆるピッチが変わる、あるいは歩幅が変わることが結果として生じるが、脚を速く動かすというのは3、4、5歳でそんなに変わらない。何が脚を速くするかというと、歩幅。ところが、歩幅が伸びるには上半身の動き、全体的なコーディネーションという、上半身と下半身のバランス、腕の振りが改善されないと歩幅自体が伸びないということがあるので、ひょっとするとその辺、昔なら異年齢の交流とか、人数も多いので、速い子がいるとその子のまねをしたり、上級生についていくということによって結果的に改善されたり、見よう見まねで速くなるとか、速くなりたいという気持ちが出てきて、繰り返しやることで改善されるということが出てくる。その辺が原因なのかなと考えている。また、指導者講習会、先生方との交流会では、いい動き、望ましい動きということをまず頭で理解していただき、実際に「これがそうです」というのを先生方に理解していただくのがいいと思っている。若い先生は一緒に走るとかボールを遠くに投げるとか、今までガキ大将が見せていたような役割をやっていたら非常にいいと思っている。

あと、先ほど堀さんから御報告があったが、昨日も上矢作こども園で、園単位で親子交流会をやった。というのは、まきがね公園とか大きいところでやると、遠くからも来てくれるが、参加するのは同じような方になってしまうというのもあるので、今年はこういう状況なので、園に行ってそこに皆さんに来ていただくということで、23名中16名の親に来ていただいて活動した。今まで来たことのない人も来た。そういう意識の啓発と、親が参加すると子どもの承認欲求がありモチベーションも高まるので、そういう意味で取り組みを続けていきたい。

■会長 永治先生、園の事例があれば。

■永治委員 何年かいろいろな講習会に参加している。こども園だと、速く走るために手を動かしなさいとかいうことは難しく、日常の生活の中や、自由遊び、集団遊びなどの保育の時間の活動の中で体を動かすことをしていこうという動きになっている。酒井先生のお話を聴いたり運動遊びの講習会に参加したとき

に、子どもに対して、こういう動きがいいとか遊びのやり方とか、細かく保育士にも教えていただき、それを園に持ち帰ってそれぞれの園で遊びの中で取り入れている。今はコロナの関係で、走っていても勢いが少ない。歩幅のことも聞いたので、手を振ってということは毎日話をしながら走ったりしている。楽しみながら過ごしていきたい。

■会長 私から質問する。障害者の方々と、去年カーリングボウリングにお邪魔した。大変楽しくやっていただいて、氷の上なので防具は着けてやっていただいたが、ワンバウンドドッジもスポーツ推進委員の方で関わった人間もいる。ほかにこういうものをやっていただきたいという要請はないか。また、施設のこういうところを改善してほしいとか。

■驚見委員 市でやっていただいて、中心は障害児の子どもたちなので、身体障害者協会の会員はお年の方が多く 60 代から 90 歳に近い人がいるので、いつもやっているのはふれあいフェアという障害者の団体でやるもので、体育館で子どもたちがどうにかできるようなことがお年寄りにできるかなということで、吹矢やフライングディスクとか、陸上でカローリングを体育館でやる。輪投げも。人が多く集まったときは玉入れや大玉ころがしをしていた。お年寄りでできることは限られるので。でも、元気のいい人はゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会を元気いっぱいに行っている。

■会長 ほかに質問はあるか。

[ 挙手及び発言する者なし ]

■会長 議題 2 に移る。

## 議題 2 スポーツ推進計画及び行動計画の中間見直しについて

- ・運動やスポーツに関するアンケート
- ・新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■会長 コロナウイルスの感染症により影響が各分野で出ていると思うので、いい薬が出ない限りコロナと戦っていかなければならないと思っている。それで、皆さんに一言ずつ、今のコロナに対する現状をお願いしたい。横谷さんから。

■横谷委員 うちの大学はスポーツ大学で、ゴールデンウィーク前後 2 週間ほどは活動自粛だったが、それ以外は自主練で動いている。現状は対策を取りながら、ユニバースのガイドラインに則って各クラブで規定を設け、毎日健康チェックシートを付け、体温測定をやっている。また、私が現在住んでいる山口市高富のスポーツクラブでも、少年団活動やその他地域総合スポーツの活動も同じように必ず活動前にチェックして用紙の提出を毎回行なっている。スポーツ界としては、明日明後日も全日本の卓球選手権の岐阜県予選が開催され、徐々に大会



も開催されてくる感じになっている。

■会長 その卓球大会は無観客か。

■横谷委員 一応無観客だ。

■会長 鷺見委員。

■鷺見委員 障害者としてはコロナが大変で、家族の中でも気をつけなければならない。本当に皆さん気をつかっている。県のスポーツ関係の大会がほとんど中止になり、障害者の岐阜大会、東濃グループの大会がほとんど、まず選手がグラウンドに出てやるのは多分いいと思うが、テントの中に集合したり密集が起きるのでそれがだめということで中止になった。私たちの支部でもよほど気を付けて、外でできることは、楽しんでやりたいという人が結構いるので、グラウンドゴルフ、マレットゴルフ、外でやるスポーツ、少しでも体を動かしたいということで、密にならないように距離を取ってやっている。これからまだまだ気を付けないとだめだと思っている。

■会長 瀬瀬委員。

■瀬瀬委員 地域のことが全部分かっているわけではないが、地域の方は対外的なイベントや地域の主要事業はコロナで全面的に中止して、3月まではそのままいってしまうと思う。地域ではイベントの開催に対して住民の非常に慎重な意見が多いので、行事、運動も今後どういうふうにしていくか、コロナ対策をしながら考えていかないといけないと思う。

報告だが、9月28日にボート・カヌー場で北中学校の生徒全員がカヌー・ボート教室を、体連の皆様方やいいなかクラブの協力でやっていくことになっている。地域もその応援に行くので、ポーランドチームへのもてなしや地域の意識は少しずつできると思う。

■会長 磯村委員。

■磯村委員 我々のフィットネスクラブは、当初、東海地区、愛知県はスポーツクラブで発生が出てしまったので、営業的にもダメージを受けている。我々以外の同業者もそうだが、お客様の数は8割から7割、いつときは5割ぐらいに減った。ただ、少しずつ回復してきた。業界団体が策定したガイドラインに則って安心・安全に使っていただき、何とか復活に頑張っている。

弊社は企業の職域での健康づくりのお手伝いもしている。大きな企業ではテレワークが非常に進んでいる。ある企業では4月から今日まで1回も会社に行っていないというところがある。通勤という身体活動がなくなって歩数がガタッと落ち、気づけば1日300歩も歩いてなかったとか。家の中にいたためだ。非常に体調の不調を訴える方が増えている。保健指導で減量を始めていてもまた戻ってしまったり、血圧が下がってきたがまた上がったとか、血糖値がまた上がったとかいう話がある。今後医療費でも影響が出ると思う。

他方でテレワークで元気になった人もある。通勤がなくなったのでその時間を健康づくりでウォーキングを始めたり、以前より体重を減らしたとか。二極化

している。市内でもそういう生活を送っている、出勤ができないとか、そういう人もあると思うので、そういう人に対して健康づくりの情報を発信できると思います。

■会長 山本委員。

■山本委員 体育連盟の会長という立場から言うと、指定管理を受けているまきがね公園の体育施設は、昨年度は工事がずっと続いていた。今年はコロナで単純な比較ができないが、いろいろな改修で施設設備のグレードが上がり、今後利用者が増えてくると思っている。健康体力センター、いわゆるジムは、マシンを全て新調していただき、コロナ禍ではあるが、2時間区切りの予約制で、マシンが40台ほどあり、その半分以上を予約で受け入れている。こういう形でずっと続けられれば今後また、安心して来られるということで利用者が増えると思う。

個人的にはずっとアクトスに通っていたが、4月から1回も行っていない。その代わりに、週末には屋外に出て運動なり歩いたりみんなでハイキングしたりするようになった。おかげで体重は維持している。結構いろいろな運動があるものだなと思っている。4連休の最後の22日には、孫と笠置山栗園に行った。ネットで予約して、10時から1時まで3時間ぐらい山を歩いたり栗を拾ったりした。子どもたちがヒーヒー言いながら動きまわっていた。山、川、野原などがこの辺りにはあるので、特別な運動施設じゃなくても野山に出かけていくというのは、我々の年の人間の自然に親しむということをお教えるということもいいと思った。

■会長 安藤委員。

■安藤委員 小中学校は3月から5月まで臨時休業で、一部入学式などはあったが、6月から学校が再開して、最初の2週間ぐらいは順次分散登校をしていた。子どもたちの正直な感想としては、家にいると運動もできないし友だちとも会えない、学校へ来るととても楽しいということが聞かれた。特に小学校では休み時間に友だちと体を動かして遊ぶというのが仕事のようにしているので、こういったことができるということがありがたいことを子どもたち自身も感じていた。いきいきとして遊んでいる。

ただ、新型コロナウイルスで気を付けなければいけないことが多分にあるので、毎日の生活の中で、遊び、運動の中でも学びながら、何を避ければいいのかを体感しながら子どもたちが育っていている。

学校を訪問すると教室が一変している。1年前と全く違う。子どもたちはみんなマスクをしているし、机の横に透明のシールドを付けて、それ越しに黒板を見たり、友だち同士のやりとりをしている。私はたまに訪問するが、子どもたちの様子を見ていて、表情が読めなくて、誰かがいいつぶやきをしていても誰がしゃべったのか分からない。そういう中で子どもと先生がやりとりしながら進んでいる。

中学校は運動、部活動もある。種目によってさまざま、気を付けなければいけないことがある。試合でも注意すべきことがあり、思うように活動できずストレ

スが溜まる場所があるが、できる範囲で授業や運動を、どこまでできるか考えながら、児童生徒も意識しながら運動している。

小学校の運動会、中学校の体育祭も、来年度以降これがなくなればいいが、東濃のほかの市の中では運動会、体育祭もやらない市もあるが、恵那市では小中学校の校長会で相談して、時間を短縮して午前中にやること、種目は肩を組んで行うようなものはそういう形でないものに変えるなど、工夫しながら、中止ではなくなんとか対策を取りながら進めていく。9月半ばぐらいから10月下旬まで行われる。観戦する保護者には運動場に入っていただくことができない。数が限られるので、保護者は1人だけにするなど、学校規模にもよるが、そのようにしている。感染症防止対策をいかに取って行うかということで、教員、子どもたち、保護者を交え協議して進めている。

■会長 こども園ではマスクなどどうか。

■永治委員 0歳児から年長さんまで年齢が幅広い。未満児、0、1、2歳児はマスクをすることで窒息の危険もあるので、未満児は日中はマスクはしていない。登園や降園のときに家の人に着けるという意味の場合は着けることがあるが、ほとんど着けていない。3歳児になると少し理解できるので、外は外しているが中ではご飯を食べるときとおやつを食べるとき、昼寝のとき以外は自分たちでマスクを着けたり外したりできるようになっている。子どもたちに説明は難しいところもあり、夏場も暑くてマスクを着けることも、職員も呼吸がえらかったりするが、冷房の中では子どもたちもできるだけマスクを着けるように取り組んできた。夏はプールも消毒の関係などいろいろなところで感染のことがあるかなということで、園によって取り組んだところと、今年度は泥遊びなどで発散しようということで行なってきた。あとは、手洗いをしっかりする。今年度は風邪やプール熱が少なかった。手洗いをしたためなのか。

行事はなかなかできないので、できることをできるだけできる方向で対策を練ってやるように進めている。

■会長 医療福祉の観点から、加藤委員。

■加藤委員 とにかく医療福祉現場ではどこの施設もピリピリしている。気を使った対策をしている。特に4、5月にはマスクが手に入らなかった。加えて、施設ではマスクだけでなく消毒液、ゴム手袋も入らず、国・県も支給したが、市からも支給した。

入所、入院している人は御存じだが、身内でも面会できない状況が続いている。何でだと言われる方もあるが、理解していただきたいと思っている。私たちが懸念するのは、ボランティアのようなことでカフェやサロンをしている方がたくさんいる。これが軒並み休止になってきた。その方たちは再開するに当たって、現場でコロナが出たら責任が取れないと。これはスポーツ関係者もそういう団体の人も同じだと思う。その辺を何とか市でバックアップしてあげないとその活動が止まってしまう。そこを今、どういうことが市でできるかということをや

っている。

恵那市もコロナの感染者が4人出たが、ちょっと出るとすぐ、どこの誰だ、何でだ、という問い合わせが殺到してくる。今一番世間でも話題になっているのは、コロナハラスメント。これが社会問題、人権問題になってきている。市でも看護師の子どもと遊んではいけないとか言われる人もいるようだ。スポーツ関係でもそういう話を聞いた。コロナハラスメントが絶対にならないような市にしていきたい。

■会長 時間が押しているので次に移る。

## 9. その他

- ・第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会の開催について
- ・「子どもの体力・スポーツ格差に関する基礎的検証研究」調査報告書概要

■会長 質問などがあれば。

[ 挙手及び発言する者なし ]

■会長 では議題が全て終了したので進行を事務局に返す。

## 10. 閉会のあいさつ

■事務局（進行） 副会長から閉会のあいさつをお願いします。

■副会長 何人かからコロナの話を聞いていて、コロナ前の状態には多分戻れないと思う。そのことが契機になって新しい発展があるようにしないといけないと思う。人類の歴史はそういうふうに来ている。また変革が起こる可能性がある。そのためには準備が必要だ。そのベースにあるのが体だ。いろいろな調査の結果も踏まえて、私どもも新しいことをお願いしてやっているのでも、御報告できるようにしたい。今後もよろしくお願ひします。今日はお疲れさまでした。

■事務局（進行） 以上で閉会する。

[ 閉 会 ]